


整理番号	HT29316	分野	自然・生活	キーワード	染織刺繍、民族衣装
------	---------	----	-------	-------	-----------

研究機関名	大分大学				
プログラム名	染色と刺繍を体験して、アジアの民族衣装を着てみよう！				
先生(代表者)	都甲 由紀子(とごう ゆきこ)教育学部・准教授				
自己紹介	家庭科の教員養成コースで被服学を担当しています。浴衣を縫ったり、染色や繊維に関わる実験をしたりする実習の授業もしています。専門は染色化学で、ラックカイガラムシ由来の色素による染色の研究をしていて、ブータンの染色や雲南省の刺繍の現地調査もしています。				
開催日時・募集対象	平成 29 年 11 月 12 日(日)	受講対象者	中学生 高校生	募集人数	20 名
集合場所・時間	大分大学教育学部 共用学生科学実験室1 (集合時間) 9:00受付 9:30開始				
開催会場	大分大学教育学部(旦野原キャンパス) 共用学生科学実験室1 住所: 〒870-1192 大分県大分市大字旦野原 700 番地 アクセスマップ: <a href="http://www.oita-u.ac.jp/category/dannoharu_map.html">http://www.oita-u.ac.jp/category/dannoharu_map.html</a>				
内 容					
<p>ふだんから誇り高く民族衣装を着て生活している人たちがブータンや雲南省、ミャンマーにいます。独特の民族衣装はどのようにして作られていると思いますか？</p> <p>それぞれ独自の染織刺繍技術を持っているのです。ブータンではラック色素やインドアカネといった天然染料で赤色系の糸を染めます。手織りで複雑な模様を入れたりもします。雲南省では少数民族の女性たちが様々な方法で刺繍をします。</p> <p>このプログラムでは、雲南省での研究の代表者である朝比奈はるか先生、ブータン刺繍作家の菊池多絵先生もお招きして、みんなで染色や刺繍の実習をして、私たちの研究内容について紹介します。</p>					
スケジュール			持 ち 物		
9:00～ 9:30 受付(教育学部共用学生科学実験室1 集合)			筆記用具		
9:30～ 9:50 開講式(挨拶、自己紹介、1日のスケジュール確認)			ハンカチタオル		
9:50～10:20 講義 (染色材料の植物や動物、染色実習の進め方の解説)					
10:20～10:30 休憩			特 記 事 項		
10:30～12:00 染色実習 (ラック・茜による刺繍糸とポケットチーフの染色)			実習の材料や道具はこちらで用意します。		
12:00～13:00 昼食			染色をするので汚れても構わない動きやすい服装で来てください。		
13:00～14:30 刺繍の実習(染色した刺繍糸を使った刺繍)					
14:30～15:00 ティータイム(参加者の交流) (中国の茶文化紹介 民族衣装装着)					
15:00～15:45 講義(ブータン・雲南省・ミャンマーのフィールド調査)					



15:45～16:00 休憩	
16:00～16:15 講義(研究職の仕事、科研費の説明)	
16:15～16:30 修了式(アンケート記入、未来博士号授与)	
16:30 終了・解散	

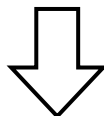
《お問合せ・お申込先》

所属・氏名：	大分大学研究・社会連携部研究・社会連携課／後藤 史彦(ごとう ふみひこ)
住所：	〒870-1192 大分県大分市大字旦野原 700 番地
TEL 番号：	097-554-7473
FAX 番号：	097-554-8557
E-mail：	kaken1@oita-u.ac.jp
申込締切日：	平成29年11月5日(日)

※当プログラムは先着順にて受付を行います。

《プログラムと関係する先生(代表者)の科研費》

研究代表者	研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
都甲由紀子	平成 25-28 年度	若手研究 (B)	25870561	ブータンにおける衣生活文化の保護と衣服材料生産に関する伝統知識の解明



★この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<http://kaken.nii.ac.jp/>

※国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。